

令和2年度 第3四半期地域経済動向調査

(令和2年10月～12月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査（新温泉町商工会）

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査（全国商工会連合会）

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査（豊岡公共職業安定所）

<https://www.hwiroha.com/area/Hyogo/Toyooka.html>

④業種別業況判断

但馬の経済指標（兵庫県但馬県民局）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

①会員アンケート調査

経営状況によるアンケート調査結果（2回目・3回目）

新温泉町商工会

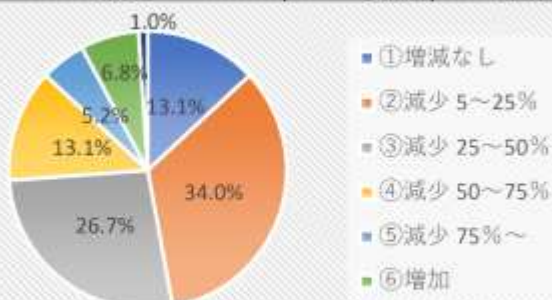
2回目（10月1日調査）

案内450件 回答191件 回答率42.4%

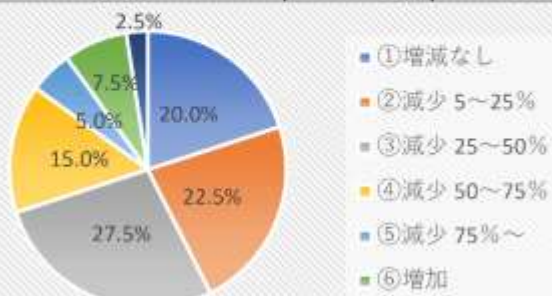
（内：QRでの回答36件）

売上状況（対前年同月比）

全業種 7～9月	件数	構成比
①増減なし	25件	13.1%
②減少 5～25%	65件	34.0%
③減少 25～50%	51件	26.7%
④減少 50～75%	25件	13.1%
⑤減少 75%～	10件	5.2%
⑥増加	13件	6.8%
⑦未回答	2件	1.0%
総計	191件	100.0%



建設業 7～9月	件数	構成比
①増減なし	8件	20.0%
②減少 5～25%	9件	22.5%
③減少 25～50%	11件	27.5%
④減少 50～75%	6件	15.0%
⑤減少 75%～	2件	5.0%
⑥増加	3件	7.5%
⑦未回答	1件	2.5%
総計	40件	100.0%



3回目（1月1日調査）

案内432件 回答140件 回答率32.4%

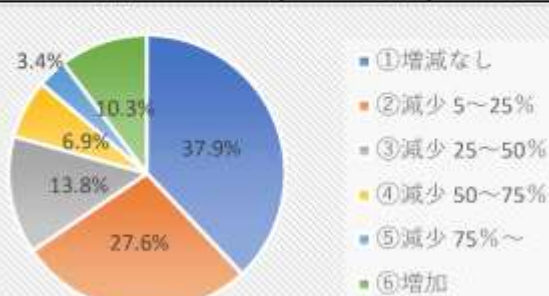
（内：QRでの回答33件）

売上状況（対前年同月比）

全業種 10～12月	件数	構成比
①増減なし	19件	13.6%
②減少 5～25%	51件	36.4%
③減少 25～50%	30件	21.4%
④減少 50～75%	7件	5.0%
⑤減少 75%～	6件	4.3%
⑥増加	24件	17.1%
⑦未回答	3件	2.1%
総計	140件	100.0%



建設業 10～12月	件数	構成比
①増減なし	11件	37.9%
②減少 5～25%	8件	27.6%
③減少 25～50%	4件	13.8%
④減少 50～75%	2件	6.9%
⑤減少 75%～	1件	3.4%
⑥増加	3件	10.3%
⑦未回答	0件	0.0%
総計	29件	100.0%



売上状況（対前年同月比）

製造業		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	1件	6.3%
②減少 5～25%	8件	50.0%
③減少 25～50%	1件	6.3%
④減少 50～75%	4件	25.0%
⑤減少 75%～	1件	6.3%
⑥増加	1件	6.3%
総計	16件	100.0%

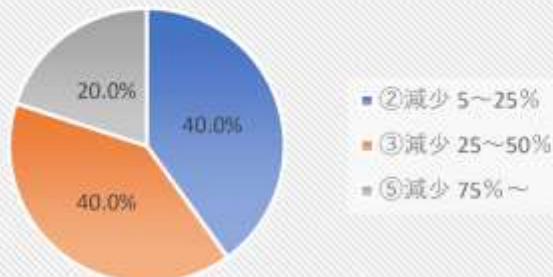


売上状況（対前年同月比）

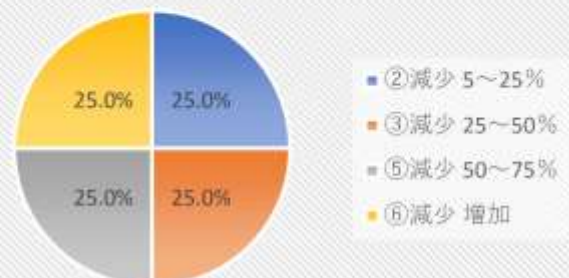
製造業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	3件	21.4%
②減少 5～25%	7件	50.0%
③減少 25～50%	4件	28.6%
④減少 50～75%	0件	0.0%
⑤減少 75%～	0件	0.0%
⑥増加	0件	0.0%
総計	14件	100.0%



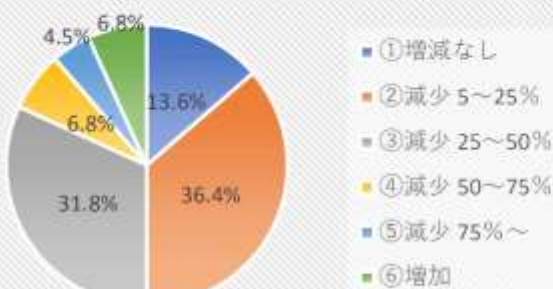
卸売業		
7～9月	件数	構成比
②減少 5～25%	2件	40.0%
③減少 25～50%	2件	40.0%
⑤減少 75%～	1件	20.0%
総計	5件	100.0%



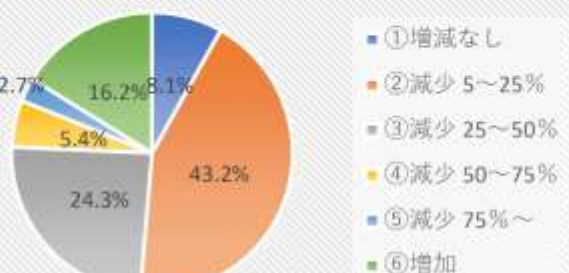
卸売業		
10～12月	件数	構成比
②減少 5～25%	1件	25.0%
③減少 25～50%	1件	25.0%
⑤減少 50～75%	1件	25.0%
⑥減少 増加	1件	25.0%
総計	4件	100.0%



小売業		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	6件	13.6%
②減少 5～25%	16件	36.4%
③減少 25～50%	14件	31.8%
④減少 50～75%	3件	6.8%
⑤減少 75%～	2件	4.5%
⑥増加	3件	6.8%
総計	44件	100.0%

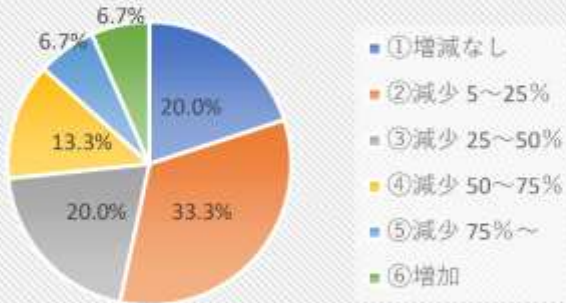


小売業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	3件	8.1%
②減少 5～25%	16件	43.2%
③減少 25～50%	9件	24.3%
④減少 50～75%	2件	5.4%
⑤減少 75%～	1件	2.7%
⑥増加	6件	16.2%
総計	37件	100.0%

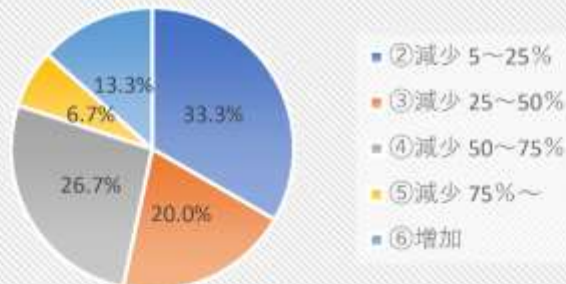


売上状況（対前年同月比）

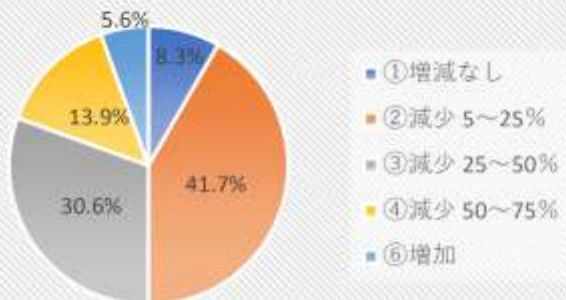
飲食業 7～9月		
	件数	構成比
①増減なし	3件	20.0%
②減少 5～25%	5件	33.3%
③減少 25～50%	3件	20.0%
④減少 50～75%	2件	13.3%
⑤減少 75%～	1件	6.7%
⑥増加	1件	6.7%
総計	15件	100.0%



宿泊業 7～9月		
	件数	構成比
②減少 5～25%	5件	33.3%
③減少 25～50%	3件	20.0%
④減少 50～75%	4件	26.7%
⑤減少 75%～	1件	6.7%
⑥増加	2件	13.3%
総計	15件	100.0%

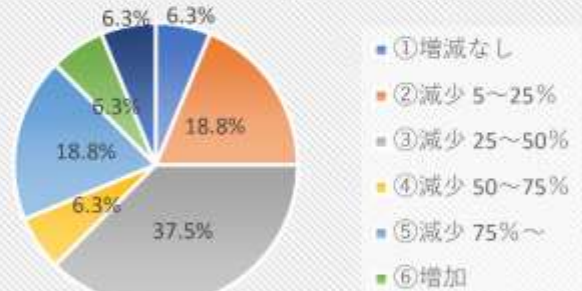


サービス業 7～9月		
	件数	構成比
①増減なし	3件	8.3%
②減少 5～25%	15件	41.7%
③減少 25～50%	11件	30.6%
④減少 50～75%	5件	13.9%
⑥増加	2件	5.6%
総計	36件	100.0%

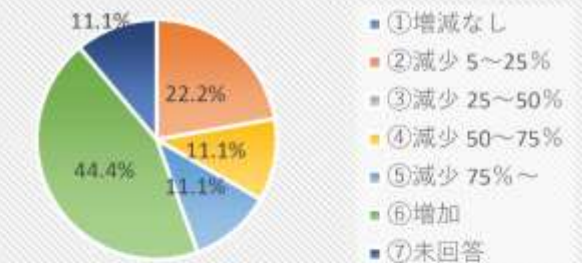


売上状況（対前年同月比）

飲食業 10～12月		
	件数	構成比
①増減なし	1件	6.3%
②減少 5～25%	3件	18.8%
③減少 25～50%	6件	37.5%
④減少 50～75%	1件	6.3%
⑤減少 75%～	3件	18.8%
⑥増加	1件	6.3%
⑦未回答	1件	6.3%
総計	16件	100.0%



宿泊業 10～12月		
	件数	構成比
①増減なし	0件	0.0%
②減少 5～25%	2件	22.2%
③減少 25～50%	0件	0.0%
④減少 50～75%	1件	11.1%
⑤減少 75%～	1件	11.1%
⑥増加	4件	44.4%
⑦未回答	1件	0.0%
総計	9件	100.0%



サービス業 10～12月		
	件数	構成比
①増減なし	1件	4.0%
②減少 5～25%	10件	40.0%
③減少 25～50%	5件	20.0%
⑥増加	8件	32.0%
⑦未回答	1件	4.0%
総計	25件	100.0%



売上状況（対前年同月比）

農業		
7～9月	件数	構成比
⑥増加	1件	100.0%
総計	1件	100.0%

その他		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	4件	22.2%
②減少 5～25%	5件	27.8%
③減少 25～50%	5件	27.8%
④減少 50～75%	1件	5.6%
⑤減少 75%～	2件	11.1%
⑦未回答	1件	5.6%
総計	18件	100.0%

未回答		
7～9月	件数	構成比
③減少 25～50%	1件	100.0%
総計	1件	

総合計	191件
-----	------

売上状況（対前年同月比）

農業		
10～12月	件数	構成比
②減少 5～25%	1件	50.0%
⑥増加	1件	50.0%
総計	2件	100.0%

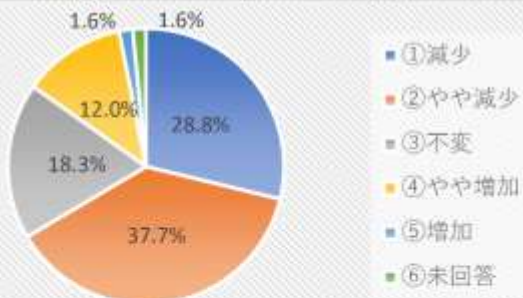
その他		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	0件	0.0%
②減少 5～25%	3件	75.0%
③減少 25～50%	1件	25.0%
④減少 50～75%	0件	0.0%
⑤減少 75%～	0件	0.0%
⑦未回答	0件	0.0%
総計	4件	100.0%

総合計	140件
-----	------

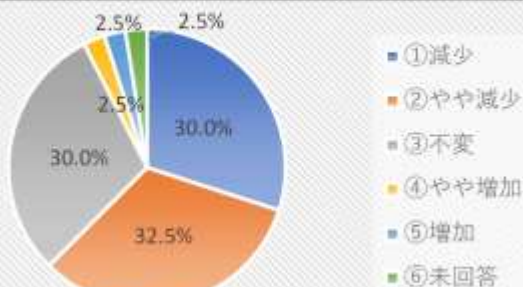
2回目（10月1日調査）

今後の売上見込

全業種 10～12月	件数	構成比
①減少	55件	28.8%
②やや減少	72件	37.7%
③不変	35件	18.3%
④やや増加	23件	12.0%
⑤増加	3件	1.6%
⑥未回答	3件	1.6%
総計	191件	100.0%



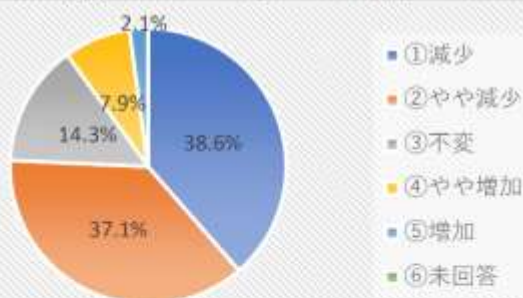
建設業 10～12月	件数	構成比
①減少	12件	30.0%
②やや減少	13件	32.5%
③不変	12件	30.0%
④やや増加	1件	2.5%
⑤増加	1件	2.5%
⑥未回答	1件	2.5%
総計	40件	100.0%



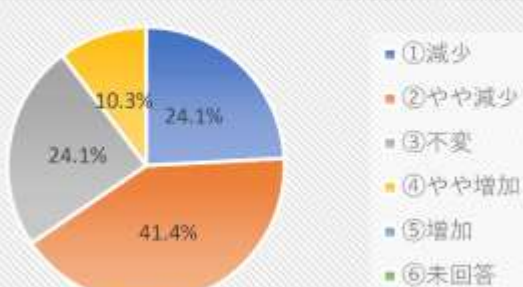
3回目（1月1日調査）

今後の売上見込

全業種 1～3月	件数	構成比
①減少	54件	38.6%
②やや減少	52件	37.1%
③不変	20件	14.3%
④やや増加	11件	7.9%
⑤増加	3件	2.1%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	140件	100.0%

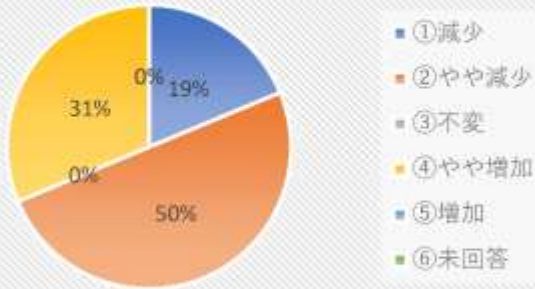


建設業 1～3月	件数	構成比
①減少	7件	24.1%
②やや減少	12件	41.4%
③不変	7件	24.1%
④やや増加	3件	10.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	29件	100.0%



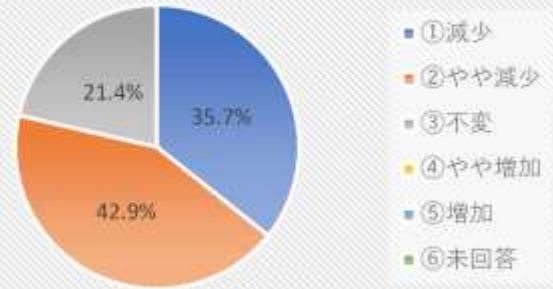
今後の売上見込

製造業		
10～12月	件数	構成比
①減少	3件	18.8%
②やや減少	8件	50.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	5件	31.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	16件	100.0%



今後の売上見込

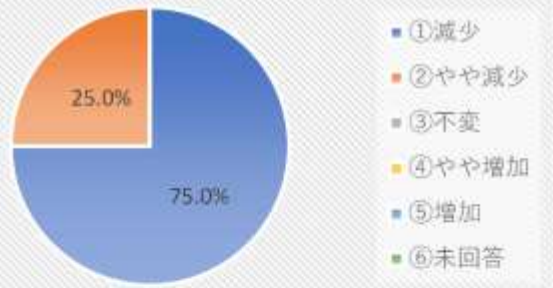
製造業		
1～3月	件数	構成比
①減少	5件	35.7%
②やや減少	6件	42.9%
③不変	3件	21.4%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	14件	100.0%



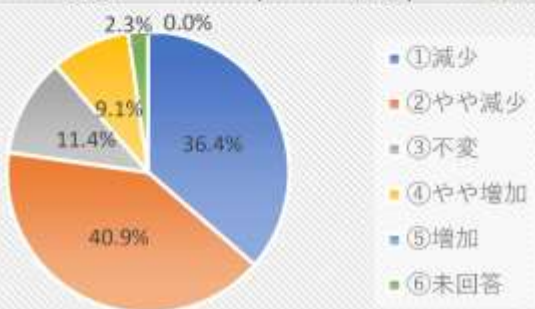
卸売業		
10～12月	件数	構成比
①減少	2件	40.0%
②やや減少	2件	40.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	1件	20.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	5件	100.0%



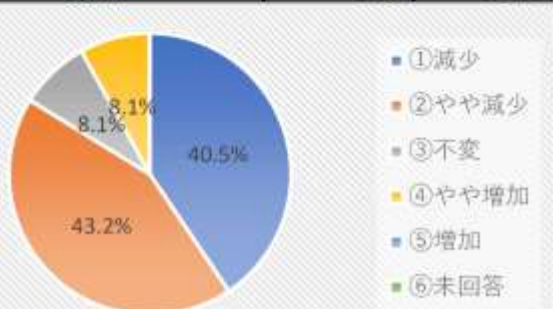
卸売業		
1～3月	件数	構成比
①減少	3件	75.0%
②やや減少	1件	25.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	4件	100.0%



小売業		
10～12月	件数	構成比
①減少	16件	36.4%
②やや減少	18件	40.9%
③不変	5件	11.4%
④やや増加	4件	9.1%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	2.3%
総計	44件	100.0%



小売業		
1～3月	件数	構成比
①減少	15件	40.5%
②やや減少	16件	43.2%
③不変	3件	8.1%
④やや増加	3件	8.1%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	37件	100.0%



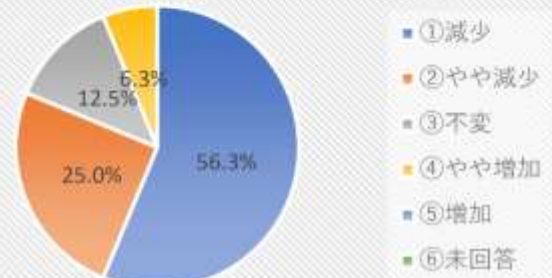
今後の売上見込

飲食業 10～12月		
	件数	構成比
①減少	6件	40.0%
②やや減少	3件	20.0%
③不変	4件	26.7%
④やや増加	2件	13.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	15件	100.0%

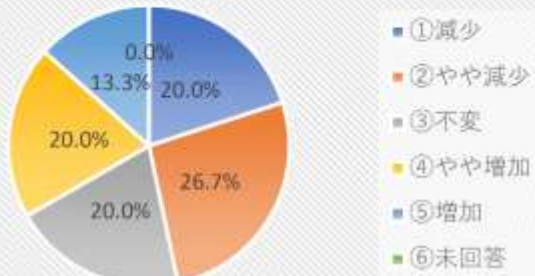


今後の売上見込

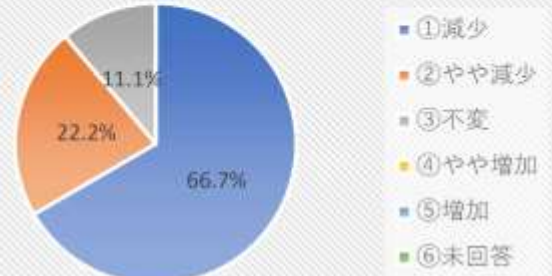
飲食業 1～3月		
	件数	構成比
①減少	9件	56.3%
②やや減少	4件	25.0%
③不変	2件	12.5%
④やや増加	1件	6.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	16件	100.0%



宿泊業 10～12月		
	件数	構成比
①減少	3件	20.0%
②やや減少	4件	26.7%
③不変	3件	20.0%
④やや増加	3件	20.0%
⑤増加	2件	13.3%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	15件	100.0%



宿泊業 1～3月		
	件数	構成比
①減少	6件	66.7%
②やや減少	2件	22.2%
③不変	1件	11.1%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	9件	100.0%



サービス業 10～12月		
	件数	構成比
①減少	10件	27.8%
②やや減少	16件	44.4%
③不変	5件	13.9%
④やや増加	5件	13.9%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	36件	100.0%



サービス業 1～3月		
	件数	構成比
①減少	8件	32.0%
②やや減少	8件	32.0%
③不変	3件	12.0%
④やや増加	4件	16.0%
⑤増加	2件	8.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	25件	100.0%



今後の売上見込

農業		
10～12月	件数	構成比
①減少	0件	0.0%
②やや減少	0件	0.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	1件	100.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	1件	100.0%

その他		
10～12月	件数	構成比
①減少	3件	16.7%
②やや減少	7件	38.9%
③不変	6件	33.3%
④やや増加	1件	5.6%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	5.6%
総計	18件	

未回答		
10～12月	件数	
②やや減少	1件	100.0%
総計	1件	

総合計	191件
-----	------

今後の売上見込

農業		
1～3月	件数	構成比
①減少	0件	0.0%
②やや減少	0件	0.0%
③不変	1件	50.0%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	1件	50.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	2件	100.0%

その他		
1～3月	件数	構成比
①減少	1件	25.0%
②やや減少	3件	75.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	4件	100.0%

総合計	140件
-----	------

②中小企業景況感

製造業

前期から幅広い業種で改善した製造業の景況

2020年10～12月期の製造業の主要3DIは、売上（加工）額DIはマイナス54.6（前期比10.3ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス46.4（同12.1ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス28.7（同9.8ポイント上昇）といずれも前期から改善した。ただし1年前の同時期と比較すると、売上は28.2ポイント、採算は19.0ポイント、資金繰りは13.4ポイントと依然としてやや大きく下回った水準で推移しており、特に売上額DIの落ち込みが目立っている。DIの内訳をみると、3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が上昇している（売上2.5ポイント、採算2.1ポイント、資金繰り0.4ポイントそれぞれ上昇）が、それ以上に「不変」の割合が増えた（売上5.3ポイント、採算7.9ポイント、資金繰り9.0ポイントそれぞれ上昇）ことにより、「減少・低下・悪化」回答が低下（売上7.8ポイント、採算10.0ポイント、資金繰り9.4ポイントそれぞれ低下）したことがわかる。

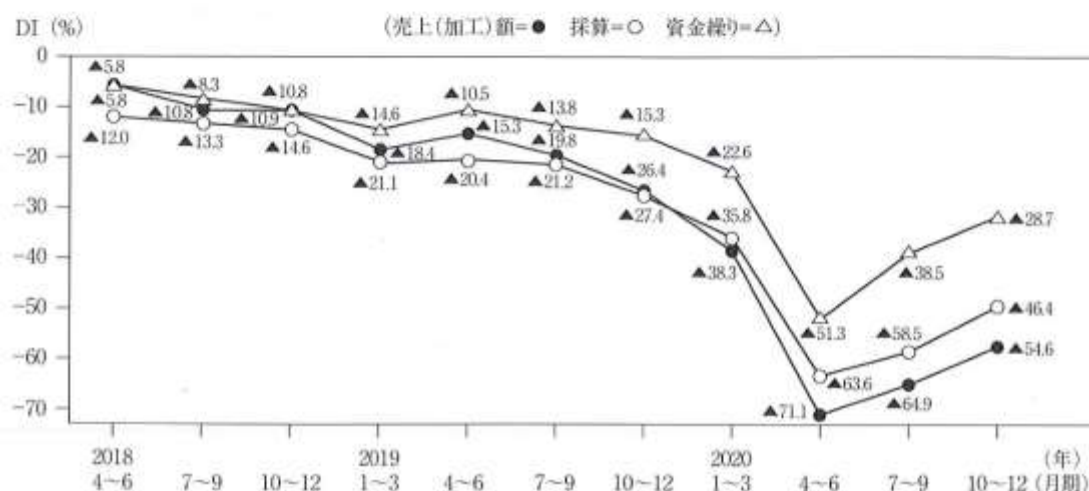
業種別にみたDIも多く範囲で改善し、売上額DIは17業種中、14業種と幅広い範囲で前期からの改善が見られた。中でも「精密機械器具製造業」（対前期31.2ポイント上昇）、「電気機械器具製造業」（同27.4ポイント上昇）、「窯業・土石製品製造業」（同21.5ポイント上昇）の改善幅は大きく、このうち「精密機械器具製造業」だけは唯一前年同期の水準も上回った。一方、前期から悪化したのは「印刷・同関連業」（対前期マイナス6.4ポイント）、「化学工業」（同マイナス25.0ポイント）、「プラスチック製品製造業」（同マイナス13.3ポイント）の3業種のみにとどまったが、このうち「印刷・同関連業」と「プラスチック製品製造業」はマイナス70を下回る水準にまで落ち込んでいる（それぞれマイナス73.2、マイナス74.6）。

地域別も同様の様子で、ほぼ全てのDIが前期と比べて改善したが、「北海道」の売上額と採算のみが対前期でマイナスとなっている。人口規模別にみた主要3DIも全ての区分で改善がみられた。また、従業員規模別でみたDIは、「51人～100人以下」のグループの資金繰りDIのみが唯一対前期で悪化したものの（対前期マイナス7.1ポイント）、その他のDIは全て前期から改善している。今回、従業員規模別の売上額DIは比較的大規模の区分で大きい改善がみられるのが特徴で、「51人～100人以下」は対前期で34.3ポイント、「101人以上」では36.4ポイントと大幅に上昇した。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘されるのは前回同様「需要の停滞」40.2%だった。対前期比では4.1ポイント低下したものの2020年4～6月期から40%を超える割合が続いており、需要不足の懸念を指摘する割合が大きいことがわかる。2位には「生産設備の不足・老朽化」10.6%（同1.6ポイント上昇）、3位「製品ニーズの変化」8.1%（同0.7ポイント上昇）とやはり前回と同じ順位が続き、いずれも指摘する割合は若干増えている。また、5位「従業員の確保難」が前期から1.1ポイントと引き続き増えており、8位「熟練技術者の確保難」（対前期1.2ポイント上昇）と併せると人材確保に関する問題点を挙げる経営者が増加している。

1. 主要3項目の動き

〈図2-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲32.8	6.2	10.3		▲27.8	5.1	12.1	
前年比	▲55.8	▲45.1	▲28.2		▲43.2	▲37.3	▲19.0	

建設業

他と比べると上昇幅は緩やかだが、改善が続く建設業

2020年10～12月期の建設業の主要3DIは、完成工事（請負工事）額DIがマイナス24.1（前期比9.5ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス24.7（同4.3ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス11.7（同4.0ポイント上昇）といずれも改善した。建設業のDIの水準は他の業種と比較すると依然として高いものの、1年前の水準と比較すると、完成工事は17.7ポイント、採算は12.5ポイント、資金繰りは8.9ポイント前年同期を下回って推移している。DIの内訳をみると、3DIのいずれも、当期が前年より「増加・上昇・好転」としたという回答の割合が上昇し（売上2.4ポイント、採算0.4ポイント、資金繰り1.3ポイントそれぞれ増加）、加えて「不変」の割合がそれ以上に上昇（売上4.7ポイント、採算3.5ポイント、資金繰り1.4ポイントそれぞれ増加）、結果として「減少・低下・悪化」としたという回答が低下（売上7.1ポイント、採算3.9ポイント、資金繰り2.7ポイントそれぞれ減少）するという傾向を示した。

業種別DIをみると、主要3DIのいずれも対前期で改善している。売上額の水準は「総合工事業」マイナス18.9（前期比8.8ポイント上昇）、「職別工事業」マイナス27.1（同11.0ポイント上昇）、「設備工事業」マイナス35.4（同9.5ポイント上昇）といずれも大きく改善する結果となった。

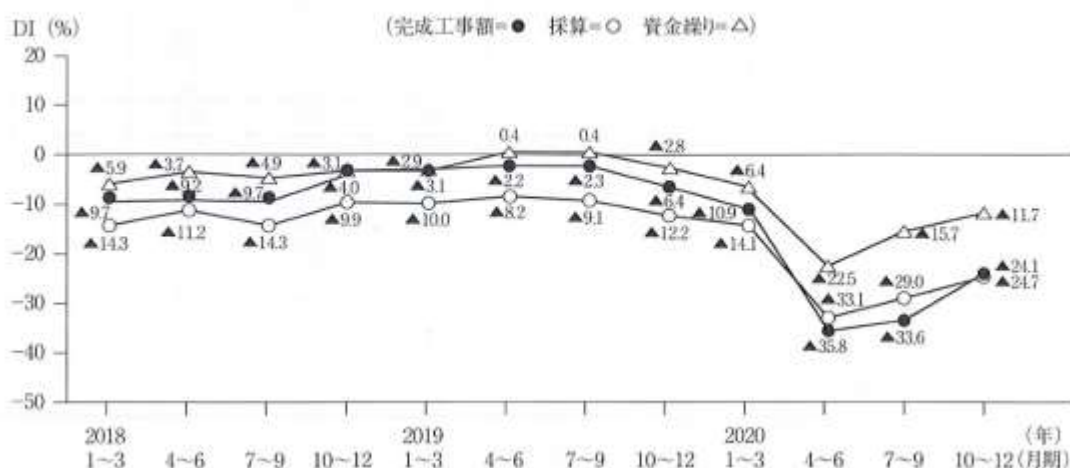
地域別では、主要3DIはほぼ全てで改善し、対前期でマイナスとなったのは「関東」の売上額（対前期2.2ポイント低下）と採算（同3.0ポイント低下）、「東北」の資金繰り（同4.6ポイント低下）のみだった。また、売上額は8地域中5地域で2桁の改善幅を示し、中でも北海道は対前期で44.8ポイントと大幅に改善しており、その結果水準自体も0.0と6四半期ぶりにマイナスから脱し、前年同期と比較しても改善の傾向を示した。

人口規模別でもほとんどが対前期で改善しているが特に明確な傾向はなく、水準は区分別での格差はさほど見られない。従業員規模別の水準は規模が大きい区分ほど高い傾向にあるが、対前期でみるとほぼすべての区分が対前期で改善しており、中でも売上高DIは7区分中4区分で2桁ポイントの改善となった。

経営上の問題点の推移をみると、1位が「民間需要の停滞」（20.6%）、2位「従業員の確保難」（20.1%）、3位「官公需要の停滞」（10.8%）といずれも前回と同じ順位となり、割合も前回からそれほど変わらない。需要の停滞を挙げる割合が3割を超える一方で、4位の「熟練技術者の確保難」（9.6%）を含めると人材確保の問題を挙げる経営者も約3割を占めており、完成工事額DIの改善に伴い建設需要回復の動きが一部進んでいることも想定される。

1. 主要3項目の動き

〈図3-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲24.9	2.2	9.5		▲19.0	4.1	4.3	
前年比	▲33.6	▲31.3	▲17.7		▲24.9	▲19.9	▲12.5	

小売業

構造的要因は続くものの引き続き改善した小売業

2020年10～12月期の小売業の主要3DIは、売上額DIはマイナス50.4（前期比10.8ポイント上昇）、採算DIはマイナス43.7（同7.9ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス26.1（同8.6ポイント上昇）で前期に比べいずれも大きく改善し、特に売上額DIは2桁ポイントの上昇となった。ただし1年前の水準と比較すると、売上は8.3ポイント、採算は8.4ポイント、資金繰りは3.7ポイント下回って推移している。DIの内訳をみると、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が増加し（売上3.4ポイント、採算1.4ポイント、資金繰り1.4ポイントそれぞれ上昇）、加えて「不変」の割合も比較的大きく増加（売上4.0ポイント、採算5.1ポイント、資金繰り5.8ポイントそれぞれ上昇）、結果として「減少・低下・悪化」したという回答が低下（売上7.4ポイント、採算6.5ポイント、資金繰り7.2ポイントそれぞれ減少）するという傾向を示した。また、主要3DIが「好転」したとする割合は前年同期の水準と比べても大きくなった。

業種別にみたDIは、主要3DIのほとんど全てが対前期で改善し、唯一「家具・建具・じゅう器小売業」の採算DIのみが悪化したものの、その幅はわずかマイナス0.1ポイントとほぼ横ばいに留まっている。売上額DIの水準は6業種全てで改善しているが、そのうち半分の3業種、「各種商品小売業」（対前期24.1ポイント上昇）、「織物・衣服・身の回り品小売業」（同14.9ポイント上昇）、「自動車・自転車小売業」（同21.6ポイント上昇）で2桁ポイントの大幅な改善を示した。

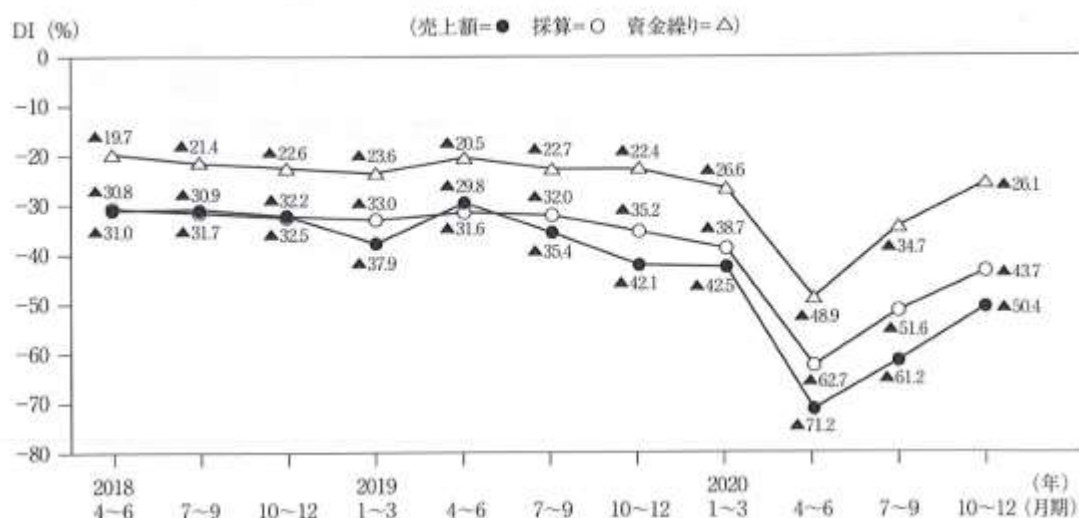
地域別も同様に対前期で改善しており、「四国」の売上額（対前期1.5ポイント低下）、採算（同マイナス2.0ポイント低下）のみが悪化した。また、売上額DIは全8地域のうち、「北海道」「中部」「近畿」「中国」「九州」の5地域で2桁ポイントの改善幅になった。

人口規模別、従業員規模別も全ての区分で主要3DIが対前期プラスに改善している。このうち人口規模別では「人口三万人～十万人未満の地区」（対前期12.6ポイント上昇）および「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」（同12.2ポイント上昇）の比較的大きな区分で売上高DIの改善幅が大きくなった。従業員規模別では、「11人～20人以下」の区分の売上額が対前期55.7ポイントと大幅に上昇した結果、水準でも3.8とプラスに改善する結果になっている。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘される割合は前回同様「需要の停滞」が一番高かったが、割合は25.7%と前期からは2.9ポイント低下している。2位以下は「消費者ニーズの変化」14.9%（同1.6ポイント上昇）、「大型店・中型店の進出による競争の激化」13.3%（同2.8ポイント上昇）、「購買力の他地域への流出」11.7%（同1.7ポイント上昇）と続き、いずれも前回に比べ指摘する割合が増加した。

1. 主要3項目の動き

〈図4-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲28.7	10.0	10.8		▲24.0	11.1	7.9	
前年比	▲41.4	▲25.8	▲8.3		▲31.1	▲19.6	▲8.5	

サービス業

水準は低いものの、宿泊業、飲食店でも景況が改善したサービス業

2020年10～12月期のサービス業の主要3DIは、売上（収入）額DIはマイナス55.4（前期比12.4ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス48.1（同10.9ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス32.0（同8.4ポイント上昇）といずれも大きく改善したものの、いずれの水準も他の業種と比較すると一番低い水準に留まっている。これは1年前の水準と比較しても、売上は30.2ポイント、採算は22.4ポイント、資金繰りは16.1ポイントといずれも前年同期を大きく下回って推移しており、特に売上額DIの落ち込みが目立っている。DIの内訳をみると、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が増加（売上3.3ポイント、採算2.4ポイント、資金繰り0.5ポイントそれぞれ上昇）、加えて「不変」の割合がそれより大きく増加（売上5.8ポイント、採算6.1ポイント、資金繰り7.4ポイントそれぞれ上昇）し、対して「減少・低下・悪化」したという回答は低下（売上9.1ポイント、採算8.5ポイント、資金繰り7.9ポイントそれぞれ減少）するという結果であった。

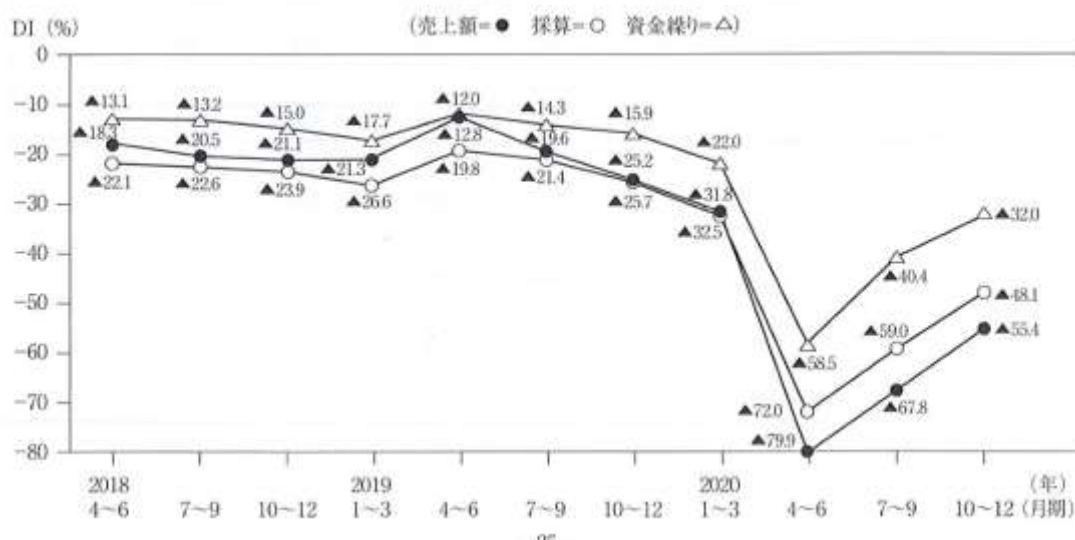
業種別の主要3DIは全てで改善したが、特に売上額DIは4～6月期に急激に悪化しマイナス90を超える水準だった「宿泊業」で対前期34.3ポイント、「飲食店（一般・遊興）」で同15.1ポイントと大幅に改善した。水準でみてもそれぞれマイナス55.3（宿泊業）、マイナス62.4（飲食店）まで上昇しているものの、前年同期と比較すると全ての業種でまだ低い水準にあることがわかる。

地域別では、対前期で悪化したのが「北海道」の採算（対前期4.8ポイント低下）と資金繰り（同0.3ポイント低下）の2つのみだった。売上額DIは全ての地域で改善しているが、全8地域中「中国」を除く7地域では2桁ポイントの上昇となった。また、人口規模別および従業員規模別でみた状況も同様で、全ての区分でDIは改善しており、区分別の格差や傾向などは特にみられない。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘されるのは前回同様「需要の停滞」だったが、その割合は32.2%と前回に比べ2.6ポイント低下している。一方、2位は「利用者ニーズの変化」18.3%でこちらは前回から1.8ポイント増加した。以降は「その他」12.1%（前期比4.5ポイント低下）、「店舗施設の店舗施設の狭隘・老朽化」8.1%（同0.7ポイント増加）、「従業員の確保難」6.8%（同1.7ポイント増加）と続く。依然として需要不足に対する問題を指摘する経営者は3割を超え圧倒的に多いが、人材確保など供給側の指摘も少しずつ増加していることがわかる。

1. 主要3項目の動き

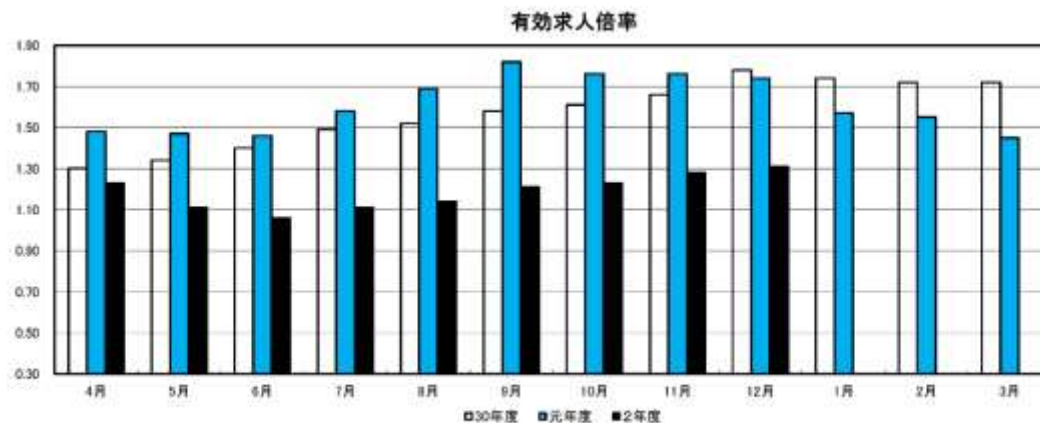
（図5-1）主要景況項目の推移 ―前年同期比―



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲48.1	12.1	12.4		▲39.5	13.0	10.9	
前年比	▲67.1	▲48.2	▲30.2		▲52.2	▲37.6	▲22.4	

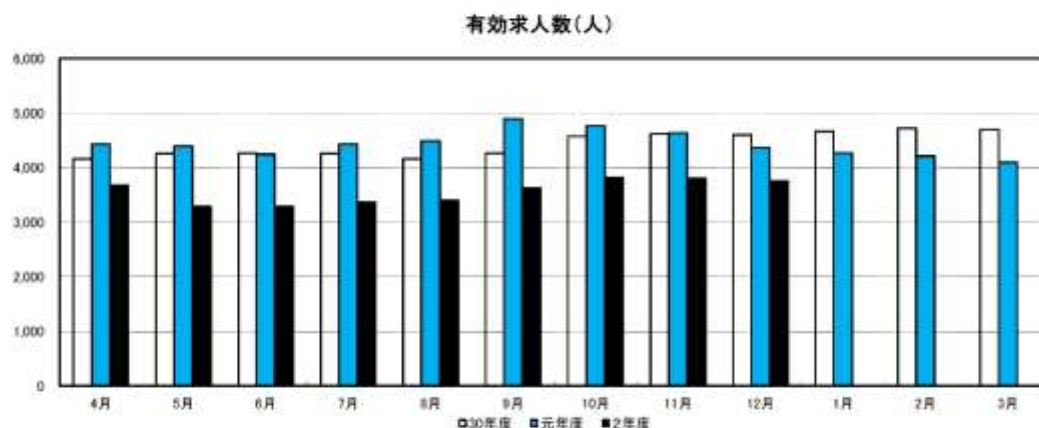
（以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査2020年7-9月期」より抜粋）

③地域の雇用情勢



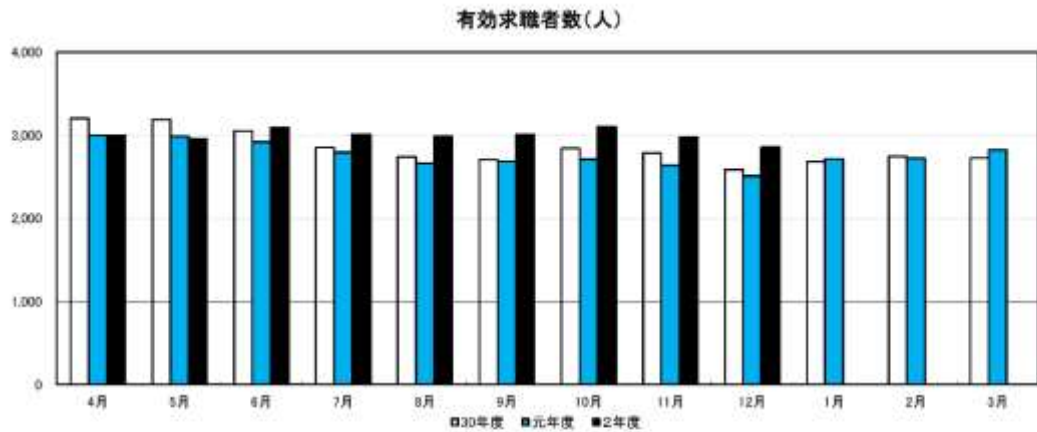
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	1.30	1.34	1.40	1.49	1.52	1.58	1.61	1.66	1.78	1.74	1.72	1.72	1.57
元年度	1.48	1.47	1.46	1.58	1.69	1.82	1.76	1.76	1.74	1.57	1.55	1.45	1.61
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31				1.19
対前月(増減)	△0.22	△0.12	△0.05	+0.05	+0.03	+0.07	+0.02	+0.05	+0.03				—
対前年(増減)	△0.25	△0.36	△0.40	△0.47	△0.55	△0.61	△0.53	△0.48	△0.43				—

出典:厚生労働省兵庫労働局「月報ひょうご」



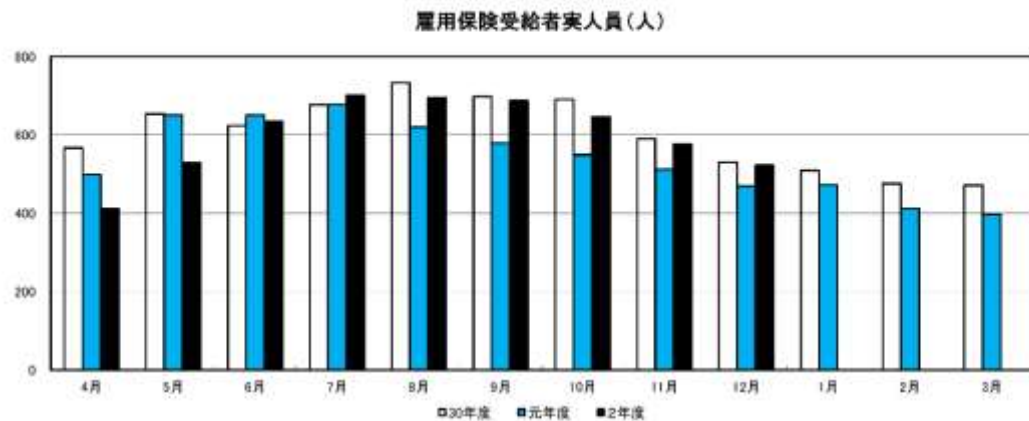
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	4,163	4,259	4,261	4,253	4,158	4,263	4,572	4,614	4,598	4,660	4,716	4,700	4,435
元年度	4,426	4,388	4,244	4,429	4,490	4,896	4,763	4,636	4,362	4,271	4,213	4,096	4,435
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753				3,557
前月比(%)	△10.18	△10.66	+0.15	+1.97	+1.31	+6.62	+5.05	△0.08	△1.39				—
前年同月比1%)	△16.88	△25.09	△22.43	△24.20	△24.25	△25.94	△20.03	△17.90	△13.96				—

出典:厚生労働省兵庫労働局「月報ひょうご」



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	3,202	3,186	3,051	2,852	2,739	2,705	2,842	2,785	2,586	2,680	2,743	2,727	2,842
元年度	3,000	2,983	2,916	2,795	2,663	2,686	2,709	2,638	2,511	2,713	2,722	2,824	2,763
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854				2,998
前月比(%)	+6.13	△1.33	+4.67	△2.68	△0.93	-0.67	+3.23	△4.06	△4.07				—
前年同月比(%)	△0.1	△0.87	+6.14	+7.76	+12.05	+11.84	+14.47	+12.77	+13.66				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	567	654	623	677	733	698	691	590	530	509	476	471	602
元年度	499	651	651	678	620	579	549	512	469	472	412	398	541
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522				600
前月比(%)	-3.52	+28.40	+19.85	+10.57	△0.86	△1.15	△5.97	△10.84	△9.38				—
前年同月比(%)	△17.43	△18.74	△2.61	+3.39	+12.10	+18.65	+17.67	+12.50	+11.30				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)

④業種別業況判断

主要業種の概況

靴卸売業	新型コロナウイルス感染症の影響で、業界全体が雇用調整助成金で雇用を維持している状況である。今のところ廃業となった企業はないが、年末迄に状況改善がみられないと事業継続が困難になる企業が出てくるとされる。消費者が外出を自粛している状況が緩和されなければ受注の回復は難しく、回復後も仕入資金の確保や回収の遅れによる資金ショートが懸念される。個人消費はアパレル→靴→靴の順に動く傾向があるため、直近の対策として小売業への進出を検討している。
宿泊業	GoTo キャンペーンの効果で露天風呂付などの高単価プランの売上が伸びている。感染症対策として部屋数を半分に減らしての営業を行っているが、9月は対前年同期比で96%の売上となった。客室係が不足しており、東京から派遣人材を呼ぶことで対応していたが、同キャンペーンの東京追加に伴い、引き続き同様の対応ができるかは不明。また、終了後の宿泊客数の減少を懸念している。集客のためにワーケーションやナイトツアーなどの目的観光作りに取り組んでいく。

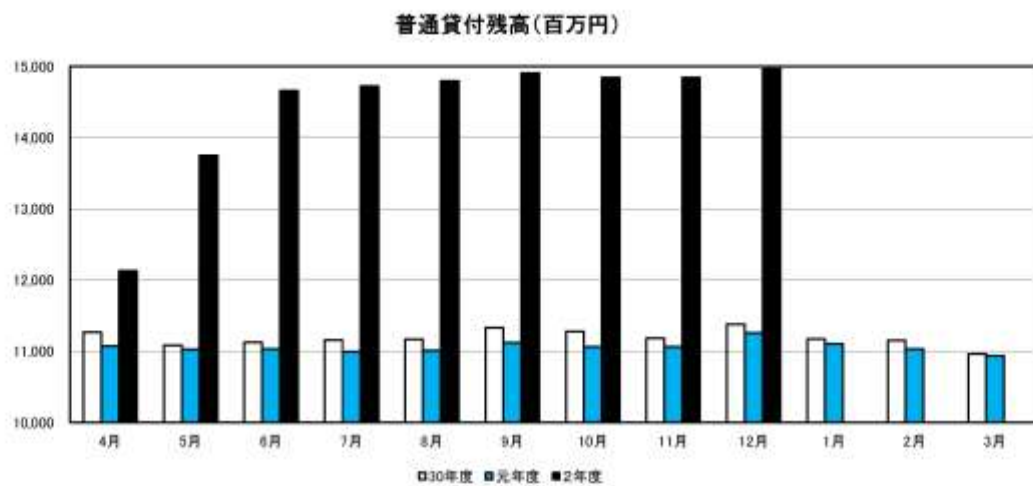
「兵庫県の経済・雇用情勢(令和2年10月)」より

食料品製造業	果ごもり需要により家庭用の販売が好調であるが、飲食店向けの販売や観光地の直営店の販売は落ち込んでいるため、全体の売上は前年同期と比べて微増となる見通し。感染症の収束の先行きが不透明なため、営業活動や卸売、直売店の販売に注力できないことを懸念している。雇用人員については現状適正であり、通年採用も行っている。
宿泊業	GoTo キャンペーンの効果でホテルの売上が伸びており、娯楽施設も含めた全体の売上は対前年同期比で1割増加となると見通しており、景況感の良い。ホテル部門が人手不足となっており、人材派遣料金の高騰も重なって、対応が逼迫している。IoTの導入や部署間の業務量調整により、業務の効率化に取り組んでいる。娯楽施設の新しいオンラインツアーの実施を検討している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和2年11月)」より

繊維工業	7月以降は新型コロナウイルス感染症の目立った影響は特になく、通常操業を行っており、景況感は良くも悪くもない。雇用人員に関しては、定年退職者の代替人員を募集しているが、熟練した人員は確保が難しい状況にある。新卒採用に関しては、来年4月に高卒1名を採用予定である。但馬地域内の取引先において、従業員減少や後継者がいない企業が多くなっている。
------	--

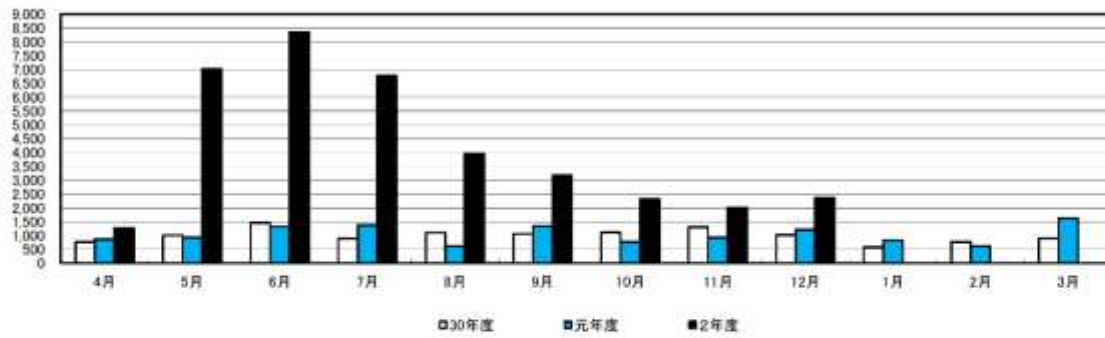
「兵庫県の経済・雇用情勢(令和2年12月)」より



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	11,266	11,086	11,125	11,161	11,170	11,335	11,280	11,181	11,381	11,173	11,150	10,966	11,190
元年度	11,073	11,024	11,031	10,992	11,008	11,122	11,062	11,066	11,258	11,105	11,034	10,938	11,059
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964				14,401
前月比(%)	+10.90	+13.35	+6.60	+0.43	+0.50	+0.77	△0.42	+0.01	+0.80				—
前年同月比(%)	+9.55	+24.72	+32.87	+33.92	+34.38	+34.03	+34.19	+34.15	+32.92				—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

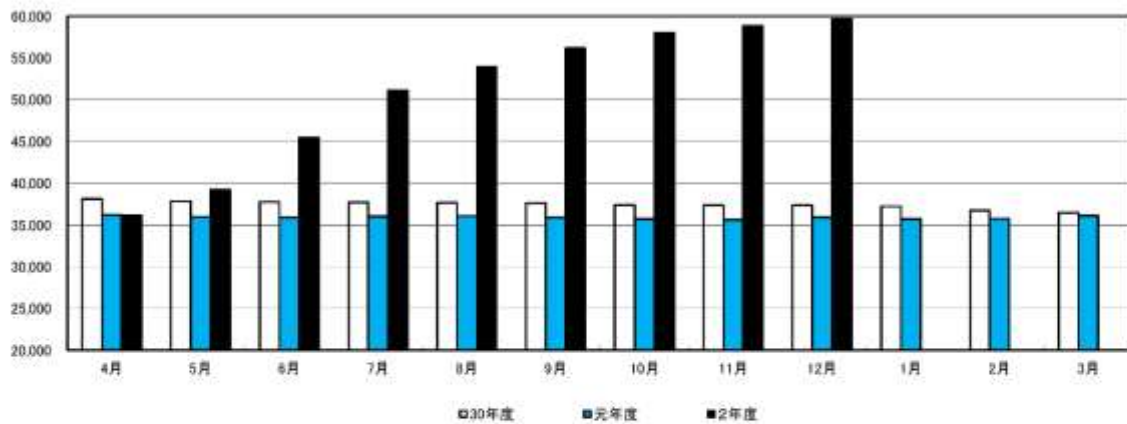
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	759	1,002	1,444	891	1,106	1,065	1,115	1,313	1,025	575	772	904	998
元年度	865	934	1,319	1,368	615	1,348	759	925	1,209	817	624	1,627	1,034
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362				4,136
前月比(%)	△22.74	+458.47	+18.86	△18.76	△41.42	△19.97	△27.16	△13.65	+18.16				—
前年同月比(%)	+15.32	+651.61	+532.6	+395.54	+545.69	+135.76	+205.01	+116.11	+95.37				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

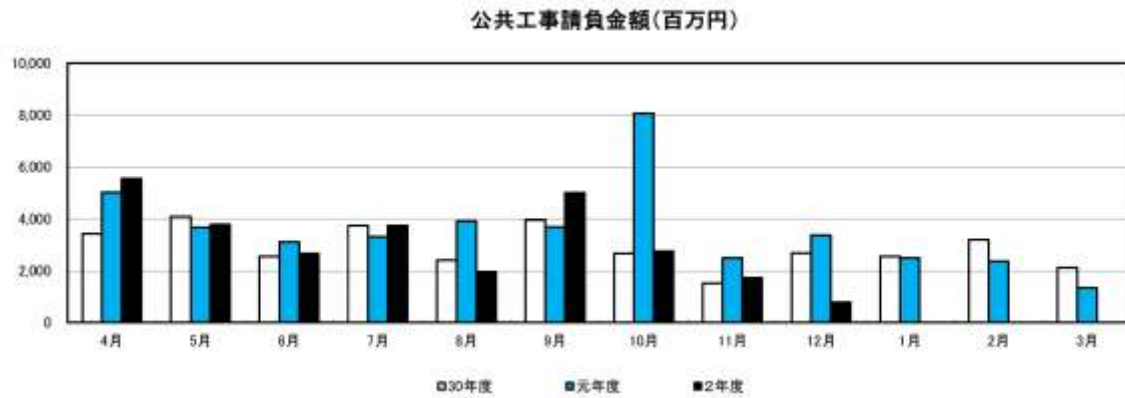
信用保証債務残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	38,089	37,808	37,731	37,684	37,615	37,639	37,402	37,326	37,373	37,219	36,711	36,447	37,423
元年度	36,183	35,966	35,869	36,013	36,064	35,856	35,678	35,635	35,926	35,721	35,735	36,121	35,897
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633				50,939
前月比(%)	+0.02	+8.53	+15.94	+12.39	+5.6	+4.1	+3.25	+1.42	+1.39				—
前年同月比(%)	△0.15	+9.02	+26.74	+41.88	+49.6	+56.64	+62.54	+65.06	+65.99				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

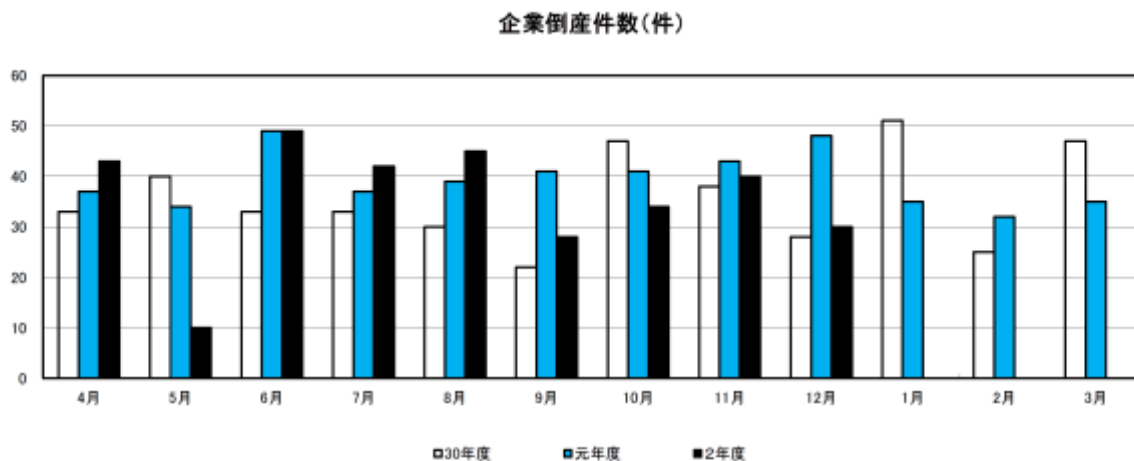
公共工事



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	3,422	4,080	2,548	3,729	2,397	3,955	2,657	1,516	2,679	2,551	3,189	2,107	2,903
元年度	5,010	3,657	3,104	3,296	3,898	3,678	8,053	2,491	3,358	2,487	2,357	1,334	3,560
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783				3,102
前月比(%)	315.44	△ 31.96	△ 29.44	40.06	△ 47.49	155.85	△ 45.10	△ 37.29	△ 54.58				—
前年同月比(%)	10.62	3.12	△ 14.27	13.08	△ 49.79	36.13	△ 65.86	△ 30.79	△ 76.68				—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	33	40	33	33	30	22	47	38	28	51	25	47	427
元年度	37	34	49	37	39	41	41	43	48	35	32	35	471
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30				321

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)